

**社会資本総合整備計画書
防災・安全交付金**

(いわき市)

令和4年10月

社会資本総合整備計画 防災・安全交付金

令和4年9月1日

計画の名称	いわき市中心市街地の防災力向上のための市街地整備（防災・安全）							重点配分対象の該当	○		
計画の期間	令和4年度～令和6年度（3年間）	交付対象	いわき市								
計画の目標	<p>・いわき市の中心市街地において、防災上危険な老朽建築物が立地する地区にて土地の高度利用を図るとともに、賑わいの創出や防災上有効な広場を確保し、安全で魅力ある都市環境の向上を図る。</p>										
全体事業費	合計 (A+B+C+D)	7,356百万円	A	7,356百万円	B	—	C	—	D	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C+D)	0.0%

番号	計画の成果目標（定量的指標）				定量的指標の現況値及び目標値		
	定量的指標の定義及び算定式				当初現況値	中間目標値	最終目標値
					(R4.4当初)		(R6末)
1	国道399号（通称：並木通り）沿線の老朽建築物について、施設建築物の更新等を図ることで、事業地区外にも効果が波及し、対象建築物の減少を図るもの。 国道399号（通称：並木通り）沿線の昭和56年以前の旧耐震建築物を計上する。				29戸		14戸
2	いわき駅を含めた都市誘導区域内における半径300m以内にある一時避難所2箇所2,900㎡を4箇所3,610㎡に増やす。 いわき市地域防災計画に位置づけられた一時避難所を計上する。				2900㎡		3610㎡

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
国土強靱化名称：いわき市国土強靱化地域計画（関連要素事業番号：A13-001）												

交付対象事業																		
A 基幹事業				直接 間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）						全体事業費 (百万円)	費用便益比	個別施設計画 策定状況	備考
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象						R4	R5	R6	R7	R8	R9				
A13-001	市街地	一般	いわき市	間接	いわき駅並木通り地区市街地再開発組合	いわき駅並木通り地区第一種市街地再開発事業	市街地再開発事業 A=1.1ha	いわき市							7,356	1.13		
合計														7,356				

交付金の執行状況

(単位:百万円)

	H29	H30	R1	R2	R3
配分額 (a)	50	288	383	287	528
計画別流用 増△減額 (b)					
交付額 (c=a+b)	50	288	383	287	528
前年度からの繰越額 (d)	0	50	288	383	287
支払済額 (e)	0	50	29	81	328
翌年度繰越額 (f)	50	288	383	287	487
うち未契約繰越額 (g)	50	278	383	287	0
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	259	302	0
未契約繰越+不用率 (h = (g+h)/(c+d))	100.0%	82.2%	95.7%	87.9%	0.0%
未契約繰越+不用率が10%を超えている 場合その理由	基本計画策定において、民間需要に対応し建物の規模及び配置計画の調整に不測の日数を要したため。	基本計画策定において、民間需要に対応し建物の規模及び配置計画の調整に不測の日数を要したため。	施設建築物の規模や資金計画等を含む今後の事業方針について、特定業務代行に係る優先交渉権者との調整に不測の日数を要したため。	権利変換の実施手続きや施設の実施設計において、新型コロナウイルスの影響により不測の日数を要したため。	

※ 平成26年度以降の各年度の決算額を記載。

(参考様式3) 参考図面 (社会資本整備総合交付金)

計画の名称	いわき市中心市街地の活性化のための市街地整備	交付対象	いわき市
計画の期間	令和4年度～令和6年度(3年間)		

【位置図】



いわき地方

